

## 「緊急事態宣言」から「まん延防止等重点措置」への移行



6月21日（月）から兵庫県ではまん延防止等重点措置となりました。学校内の感染症対応は大きく変わることはありません。緊急事態宣言からまん延防止重点措置になりましたが、感染症対策の警戒心は解かずに対応してほしいと思います。報道にもありますとおり、県内のある高等学校ではクラスターが発生しています。最近では真夏日を記録していることから、本校では、感染症対策と熱中症対策の両方の対応を徹底し、生徒の学びを止めないようにしてまいります。

### 2. 確認事項

#### (1) 登校時

毎日の登校前の健康観察を改めて徹底するとともに、同居のご家族に発熱等の風邪症状があったり、PCR 検査を受けたりする場合は、引き続き登校しないことを徹底してください。

「同居者が海外出張等のため、会社の指示で PCR 検査を受けるなどの場合は、自宅待機は必要としない」ことについては、継続しています。

#### (2) 登校時の健康観察

健康観察表は、現在使用中のものを継続します。朝は西門と教室のダブルチェック体制を維持します。

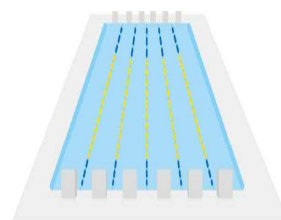
#### (3) 体育授業の感染症対策について

##### ①運動時のマスク着用について

呼吸が激しくなる活動の際は、生徒にマスクを外すよう、くり返し指導をします。水泳の時は、準備体操が終わり、シャワー直前に外させます。授業後はシャワー直後に生徒にマスクを返却します。更衣中はマスクを着用するよう指導します。

##### ②プール更衣室について

更衣室入口前に手指消毒液を設置しています。また、更衣室内の手洗い場にハンドソープを設置します。更衣室内部は密を防ぐために、生徒用机を置いて身体的距離を強制的に確保します。



## ※特に注意が必要です。

現在、体育では水泳の授業を行っています。そこで、授業後の更衣室において、マスクを着用せずに、その上、会話をしながら着替えをしている生徒が複数いるようです。見かけたら指導を行います。この危機感のなさは、悪い意味で「慣れてきている」と感じます。

これから、各運動部の総合体育大会、8月末には修学旅行が控えています。校内でクラスターが発生した場合、阪神総体、兵庫県総体、全国大会の出場停止、修学旅行の中止等の事態になるかもしれません。

今一度、危機感を持って学校生活を送ってほしいと思います。先生が生徒を注意してばかりではなく、生徒間でも注意し合うことも大切です。



#### ③熱中症対策について

原則、水泳の授業途中では水分補給は行いません。理由は、入水時間が短いため授業前に水分補給をしてくるよう指導しているためです。

#### ④教室の換気について

気温が上昇し、真夏日を記録する日が出てきています。冷房はかけますが、教室の扉（前後どちらか）と（対角にある）教室の窓は、常時20cm開けて換気します。

#### (4) グループ学習について

グループ学習を再開します。話し合いをする場合、机を菱形に向かい合わせにすることは認めますが、机はくっつけないよう指導します。

#### [グループ学習時の座席図]

